

琵琶湖ヨット倶楽部週報(10-7-21 第)

(1) 會員總會

七月十四日午後六時から開催の協定であつたが支障が多くて遂に流会となつたのは残念でした。尚多忙の上田理事をとらへて腹案を作りました。其の未実行して差支ないと思ふものはとんとん実行に移します。何卒御諒解下さい。腹案のみ、実行に移し得ないものについては週報紙上に相済致しますから同封の請書に御意見を御記入御返して下さい。

(2) 當俱樂部事務所所在地

昭和九年 year book には事務所は柳ヶ崎になつておられますが對外的に色々不便な点がありますから元の通り、大津市中保町 上田健治郎氏が、預かりの通り、上田様方は尚多忙で御迷惑でせうが御指に御引受け下さる標に願ひます。

(3) 艇庫に電燈の件

艇庫の電燈を引きたいの件。今の水道官舎から艇庫まで幾らで引込みか。見積方を御調べ願ひませんか。之は長谷川様に御手紙を御願ひしたいのです。

(4) 鈴木 英君 見舞

鈴木 英君の基は幸甚と喜ばせ、見舞つて居りませんが、最近北岸に太くつて、元氣なおつて居ります。俱樂部として代表者が見舞に行きたいと思つて居ります。上田 宮崎の二人に御任かせ下さい。

(5) 副會長

當俱樂部には規約上副會長を置き得る標になつて居ります。無くては支障なれば是れでよいのですかあつた方が更に便利で都合が好いのならば副會長實現に御反對の方はないと思ひます。(此項御意見を御願ひ下さい)

(6) カップレースの日取一部変更

前報で豫報したカップレースのスケジュール中一部を次の通り変更致します。実行の方法については廿一日或いは廿八日に相済致しませう。

◎ 琵琶湖カップレース 八月十一日

(丁度名古屋で全日本十二呎艇の全國選手権大会兼オリンピックの縁送)
[大会のある日なので特に実行方法に御ついで御注意の必要あり]

(7) 中等學校レース

昨年来の協定通り、八月四日に実行したいのです。之が準備事務は特に吉本の様標に願ひたいのですか、御都合を至急御返すに御願ひ下さい。

(8) 琵琶湖のヨット調査

湖上に當保楽部以外にと北ほと、とん舟艇かあるかを調査する事は興味あり意味あつたと思ひますので上田様の手で調査してもらう事に致しました。本月末頃には調べが終了見込です。

(9) 推奨したる顧問及名誉会員

- 顧問 滋賀縣知事
- 名誉会長 大津市長 堀田新次郎氏(従前の通り)
- 名誉会員 滋賀縣の四部長
- 大津市助役 早川氏
- 大津市商工会源所会頭 西田利七氏
- " 副会頭 上田元治郎氏
- 郷軍大津聯合會會長 田中甚一郎氏
- 大毎 鈴木三郎氏
- 滋賀縣体育主事 中川良太郎氏
- 東阪大津管業所主任
- 大湖汽船会社 片岡氏
- 江若鉄道 佐藤氏

(此項中意見を聞きたく)

(10) 艇庫竣工式

着手するまでに手間どつて、着手してからも天気都合で工事が遅れ川霧ちでありましたか漸く竣工致しました。新艇庫、旧艇庫の間の区切りがなくなつて百二十五畳敷の大廣間となつたの正實に廣々としてゐます。東京海上火災保險会社で“風水害保險”を開始する事から今度には火災と共に風水害保険も付けて置く積りであります。

竣工式の次第は七月廿八日午前中に設備、競艇の用意等をして、午後一時に式を行います。オープンの大毎カッブレースは一時半スタートと致します。此レースはオープンでも登録艇に限るものとしたいのです。尤も登録の7を紙上で發表してあるの登録でも差支ないにしたいのです。制限としては帆面積100平方尺以下の艇で、一艇一人。(参考のため、琵琶湖カッブレースは艇及クルーの制限をせぬにしたい)

(11) セーリング遠航

同志社ヨット倶楽部及ヨット修練の一部の有志者約十二名で五米艇又、十二呎艇又、のfleetを編成して梅雨あけの七月十八日午後三時からコースを北に取つて北西の強い風を受けコースホールドで勇しく出帆致しました。主として砥石附近にキャンプする計畫らしいです。好い天気を祈つてゐます。

(10-7-18 空所)